

# 令和4年度 糸魚川ジオパーク学術研究奨励事業 研究概要

## No.2 山口弘幸（鎮西学院大学）

### 【研究の名称】

糸魚川ユネスコ世界ジオパークにおけるユニバーサルデザイン化の推進に関する調査研究

### 【研究テーマ】

糸魚川ユネスコ世界ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進に向けた課題の解明と対応力向上を目的に、ユニバーサルデザイン化に向けた具体的検討に資する基礎的資料を制作する。それらを踏まえて糸魚川地域の観光振興とユニバーサルツーリズムの推進を図る。

### 【研究内容】

糸魚川ユネスコ世界ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進を目的に、各拠点施設の点検及びユニバーサルデザイン・ジオツアーの企画開発の検討を8月21～25日のスケジュールで行った。既存のジオツアーとバリアフリー環境及び駐車場や宿泊先等の状況を踏まえる中で、ジオパル、フォッサマグナミュージアム、フォッサマグナパーク、弁天岩を巡るコースを設定した。さらにお土産処や食事処及び周辺ルートの多目的トイレの調査を行い、コースに沿ってジオガイドとともに車イスを用いた確認検証を行い、それらの調査結果をユニバーサルデザイン・ジオツアーのパンフレット（案）としてまとめた。

### 【研究のまとめ】

ユニバーサルデザイン・ジオツアーのコース選定について、対応可能性のあるジオ拠点のゾーニングとともに宿泊、多目的トイレ、買い物や食事処等の情報も踏まえたジオツアーコースのパッケージ化を行った。一部配慮を要する点もあるが、適切な情報提供と無理のないバリアフリー状況の改善、介助者の手配を行えば、現行の各施設の取り組みからも概ねコース設定が可能であることが考察された。糸魚川ユネスコ世界ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進に向けた課題として、①ソフト面・ハード面の両面を捉えた可能な限りの留意点についての改善検討、②魅力ある体験プログラムの掘り起こしとプロモーション、③他地域の可能性のあるコース設定の検討が考えられる。対応力向上に向けた方向性については、①相談機能の充実とバリアフリーツアーセンターとの連携、②介護タクシー等の外部支援の取り入れの検討が重要である。